

講義コード	11C0280900	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	浅子 和美	開講期	通年
科目名	金融論					浅子 和美		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	金融と金融政策の基礎的理論や日本経済の現状を理解し、マイクロ・マクロ両面からの日本経済を見る眼を養う。								
到達目標	金融と金融政策の基礎的理論や日本経済の現状認識をベースにして、マイクロ・マクロ両面から日本経済の課題を理解し、自ら最善に対処する。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	参考書や指定された資料の該当箇所を事前に読み、授業中にとったノートをチェックするなど、予習・復習を合わせて120時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	<p>【第1回】物々交換経済から貨幣経済へ：貨幣の3つの機能</p> <p>【第2回】貨幣の流通：世代重複モデルによる説明（1）</p> <p>【第3回】貨幣の流通：世代重複モデルによる説明（2）</p> <p>【第4回】貨幣の中立性：古典派の2分法</p> <p>【第5回】2分法の崩壊：貨幣数量説 vs 流動性選好説</p> <p>【第6回】金融（資金貸借）とバレート改善</p> <p>【第7回】間接金融（金融仲介）と直接金融</p> <p>【第8回】情報の非対称性とエージェンシー・コスト</p> <p>【第9回】モラル・ハザードと逆選択（1）</p> <p>【第10回】モラル・ハザードと逆選択（2）</p> <p>【第11回】金融取引のリスク：（1）資産選択理論</p> <p>【第12回】金融取引のリスク：（2）企業ファイナンスとMM理論</p> <p>【第13回】金融取引のリスク：（3）不確実性と設備投資</p> <p>【第14回】銀行破綻と金融システム不安</p> <p>【第15回】第1期まとめ</p> <p>【第16回】金融と実体経済：（1）金融仲介中断とクレジット・クラッシュ</p> <p>【第17回】金融と実体経済：（2）通貨主義 vs 銀行主義</p> <p>【第18回】金融自由化と日本経済（1）</p> <p>【第19回】金融自由化と日本経済（2）</p> <p>【第20回】財政と中央銀行の独立</p> <p>【第21回】貨幣乗数と信用創造</p> <p>【第22回】3つの伝統的金融政策手段</p> <p>【第23回】流動性の罫</p> <p>【第24回】期待理論と金利の期間構造</p> <p>【第25回】非伝統的金融政策手段：（1）ゼロ金利政策</p> <p>【第26回】非伝統的金融政策手段：（2）量的緩和政策</p> <p>【第27回】非伝統的金融政策手段：（3）アベノミクス</p> <p>【第28回】非伝統的金融政策手段：（4）マイナス金利政策</p> <p>【第29回】今後の日本経済</p> <p>【第30回】第2期まとめ</p>								
成績評価の方法	授業中に行う3回ないし4回の小テストと、期末試験の結果による。小テストは授業中の受験が鉄則であり、レポート等による代替は受け付けない。								
フィードバックの内容	小テストの結果は速やかに講評する。								
教科書									
指定図書									
参考書	『入門・日本経済（第5版）』浅子和美・飯塚信夫・篠原総一（編）（有斐閣）2015年								
教員からのお知らせ	講義で取り上げるテーマは一部で流動的な要素が残っており、変更される場合もある。教科書の指定は、授業開始後に指示する。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。								